

バイオマス発電 WG 記念講演会

～ドイツのバイオエネルギー事情、バイオ発電への更なる取り組み～

バイオマス発電事業化促進ワーキンググループ(WG)は、発足以来、再生可能エネルギー、とりわけ、木質バイオマス発電促進の活動を進めてきましたが、二年目となるのを記念して講演会を開催します。記念講演では、WG アドバイザーの竹林氏より、ドイツ視察の体験をもとに、現地の最新事情をお話いただきます。WG の活動報告の後の意見交換では、再エネや地域の木質バイオマス活用の課題を WG アドバイザーの諸氏を交え、参加者と一緒に考えたいと思います。

■日時 2014年4月14日(月) 18:15～20:30

■会場 港区神明いきいきプラザ 4階

■プログラム

司会進行：広本公朗 (スマートモバイルコンソーシアム 議長、WG 運営委員)

開会挨拶：米谷栄二 (認定 NPO 蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク 副理事長、WG 運営委員)

第1部 講演 18:20～19:20

○タイトル「ドイツのバイオエネルギー村などあれこれ」

<講師>

竹林 征雄 (たけばやし まさお) 氏

<プロフィール>

(一社) エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議理事、NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク副理事長。荏原製作所、横浜市立大学大学院、(財)地球環境戦略研究機構、国連大、大阪大学、東大サステイナビリティ学連携研究機構などを経て、現在、持続可能社会形成・バイオマスエネルギー関係に注力。

○質疑応答

休憩 10分間

第2部 報告・意見交換 19:30～20:30

○テーマ「バイオマス発電へのさらなる取り組み！」

<報告者>

木村忠夫 (NPO 法人 NPO ビジネス・サポート 理事長、WG 座長)

<コーディネーター>

杉浦英世 (島交流の会 代表、市民キャビネット農都地域部会・WG 事務局長)

○意見交換

閉会挨拶：手塚信利 (株式会社ターリングエンジン 会長、WG 運営委員)

※終了後、交流会を行います。お気軽にご参加ください。

●主催 市民キャビネット農都地域部会 バイオマス発電事業化促進ワーキンググループ

■バイオマス発電事業化促進ワーキンググループ（WG）とは？

WGは、2013年4月15日、市民・NPOの現場の課題を政策提言する全国ネットワーク「市民キャビネット農都地域部会」に設置されました。固定価格買取制度（FIT）の施行など、東日本大震災後のエネルギー政策を取り巻く環境変化と、それまで関係者が行ってきた調査・研究や議論の結果を踏まえ、再生可能エネルギー及び木質バイオマス発電の普及が急務であると考えてのことです。

WGは、「再生可能エネルギーの利用促進、とりわけ、木質バイオマス発電普及の課題を検討し、提案を取りまとめ、事業化への支援を行っていく」と運営方針を定め、課題検討と提案については、発足以来、14回の会合、8回の勉強会（①海洋エネルギー、②製紙業界とバイオマス発電、③熱電併給について考える、④小規模バイオマス・コジェネの将来像、⑤バイオマス利用のオプションドイツの経験より、⑥下川町の森林・バイオマス事例、⑦木質バイオマス発電の事業化の状況と課題、⑧木質バイオマス発電事業について）、3回のフィールドワーク（群馬県北部、飯能市バイオマス発電ガス化炉見学）を重ね、第1次提言8項目と第2次提言3項目を府省庁や関係諸団体へ提出しました。昨年11月には、いままでの活動経過を報告し今後について考える「経過報告会」を開催し、その中で、内閣府規制改革推進室担当部署への具体的規制事例の提出（回答あり）を含めて第1次提言の具体化状況と、第2次提言の取りまとめの検討を行いました。今年1月には、バイオマス発電事業化促進フォーラムを開催し、多数の参加を得てWGの活動状況へご理解をいただきました。

事業化支援については、群馬県や福島市の地域団体、NPOへ調査事業の協力をを行い、地元自治体も加わって「みなかみバイオマスエネルギー推進協議会」設立などがありました。

今後も、再エネとバイオマス発電の課題を検討（勉強・議論）し、現場からの目線で必要に応じて提言を取りまとめるとともに、再エネ促進のネットワークを広げていきたいと思っています。そのため、全国各地のバイオマス発電事業化関係、協力支援専門家等を構成メンバーとする連絡・情報交換の場の設置や、事業化支援へ協力する新組織の設立を検討しているところです。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

【第1次提言項目】

- (1) 木質バイオマス発電の総合的推進
- (2) 再生可能エネルギー関連規制の緩和と推進体制の確立
- (3) 木質バイオマス発電における未利用木材の安定確保策の強化
- (4) 木質バイオマス発電における熱電併給型の可能性と支援措置の探求
- (5) 石炭火力発電における木質バイオマス混焼の推進
- (6) 木質バイオマス発電における共処理化等の推進
- (7) 森林除染の技術開発と普及
- (8) 地域・市民主導の多様な資金調達方法の確立

【第2次提言項目】

- (9) 地域における木質バイオマスの総合的利用構想の策定
- (10) 木質バイオマス発電における燃料調達の確保策の強化
- (11) 木質バイオマス発電における熱電併給型の推進

※提言・活動等の詳細は、WG ホームページをご参照ください。